



令和元年10月7日  
十日町市博物館

## 笹山遺跡出土品国宝指定 20 周年記念 シンポジウム「縄文の国宝」を開催します

第34回国民文化祭・にいがた2019、第19回全国障害者芸術・文化祭にいがた大会の十日町市主催事業として、下記のとおり笹山遺跡出土品国宝指定20周年記念シンポジウム「縄文の国宝」を開催します。

### 1 日時・会場・内容

- ・日時 11月9日(土) 13時～17時(開場は12時30分)
- ・会場 越後妻有文化ホール「段十ろう」
- ・内容 **【第1部】事例報告「縄文国宝の活用とまちづくり」(13時～)**
  - ①国宝「中空土偶」(北海道) 函館市教育委員会文化財課 学芸員 福田 裕二 氏
  - ②国宝「合掌土偶」(青森県) 八戸市是川縄文館 学芸員 小久保 拓也 氏
  - ③国宝「縄文の女神」(山形県) 舟形町教育委員会教育課 課長補佐 豊岡 将志 氏
  - ④国宝「縄文のビーナス」(長野県)  
国宝「仮面の女神」(長野県) 茅野市尖石縄文考古館 学芸員 山科 哲 氏
  - ⑤国宝「火焰型土器」(新潟県) 十日町市博物館 学芸員 菅沼 亘**【第2部】スペシャルトーク「縄文と国宝の魅力」(15時～)**
  - ①「国宝土偶の楽しい見方、お伝えします！」  
譽田 亜紀子 先生(文筆家)
  - ②「縄文と和食」  
土井 善晴 先生(料理研究家)**【同時開催】「縄文の国宝」ポスターセッション (正午～17時)**

### 2 定員・申込み

- ・定員 300名程度(参加無料・要事前申込み)
- ・申込み 氏名・電話番号を下記まで  
〒948-0072 十日町市西本町1-382-1 十日町市博物館  
TEL: 025-757-5531 FAX: 025-757-6998  
e-mail: museum.10@city.tokamachi.lg.jp

### 3 添付資料 縄文の国宝チラシ

■お問合せ先  
十日町市博物館  
担当：菅沼 TEL:025-757-5531

笹山遺跡出土品国宝指定20周年記念シンポジウム

# 縄文の国宝

令和元年

## 11月9日(土)

13:00~17:00 (開場12:30)

### 越後妻有文化ホール 段十ろう

十日町市本町1丁目上508番地2 TEL 025-757-5011

【第1部】 13:00~

#### 事例報告 「縄文国宝の活用とまちづくり」

- 国宝「中空土偶」 北海道 著保内野遺跡  
福田 裕二氏 (函館市教育委員会文化財課 学芸員)
- 国宝「合掌土偶」 青森県 風張1遺跡  
小久保 拓也氏 (八戸市埋蔵文化財センター一是川縄文館 学芸員)
- 国宝「縄文の女神」 山形県 西ノ前遺跡  
豊岡 将志氏 (舟形町教育委員会教育課 課長補佐)
- 国宝「火焰型土器」 新潟県 笹山遺跡  
菅 沼 亘氏 (十日町市博物館 学芸員)
- 国宝「縄文のビーナス」 長野県 棚畑遺跡
- 国宝「仮面の女神」 長野県 中ッ原遺跡  
山科 哲氏 (茅野市尖石縄文考古館 学芸員)

【第2部】 15:00~

#### スペシャルトーク 「縄文と国宝の魅力」

- 「縄文と和食」
  - 「国宝土偶の楽しい見方、お伝えします！」
- 土井 善晴 先生 (料理研究家)      譽田 亜紀子 先生 (文筆家)



同時開催 「縄文の国宝」ポスターセッション 12:00~17:00

**参加無料** 要事前申込み

定 員：300名程度 (手話通訳・点字パンフレットあり)

申込み：氏名・電話番号を下記まで

問合せ：〒948-0072 新潟県十日町市西本町1丁目382番地1 十日町市博物館

TEL 025-757-5531 FAX 025-757-6998

e-mail museum.10@city.tokamachi.lg.jp

主 催 / 文化庁、厚生労働省、新潟県、新潟県教育委員会、十日町市、十日町市教育委員会、第34回国民文化祭、第19回全国障害者芸術・文化祭新潟県実行委員会、第34回国民文化祭、第19回全国障害者芸術・文化祭十日町市実行委員会

後 援 / 縄文文化発信サポーターズ、信濃川火焰街道連携協議会



国宝「火輪型土器」十日町市所蔵



国宝「縄文のビーナス」茅野市所蔵



国宝「中空土偶」函館市所蔵



国宝「合掌土偶」八戸市所蔵



国宝「仮面の女神」茅野市所蔵



国宝「縄文の女神」山形県所蔵

# 縄文の国宝

縄文時代の国宝が出土している5つの自治体(北海道函館市・青森県八戸市・山形県舟形町・新潟県十日町市・長野県茅野市)が集まり、2020東京オリンピック・パラリンピックに向けて、縄文文化の魅力を情報発信します。  
「最古の国宝」のすべてがわかります。



Photo:T.Ogawa

## 事例報告 「縄文国宝の活用とまちづくり」

### 福田 裕二

(ふくだ ゆうじ)

函館市教育委員会生涯学習部  
文化財課兼世界遺産登録推進室  
主査(学芸員)



1967年、函館市生まれ。駒澤大学文学部歴史学科卒業。南茅部町教育委員会社会教育課学芸員、函館市文化・スポーツ振興財団・北方民族資料館学芸員等を経て、現職。現在は埋蔵文化財の調査・保護・普及活用、世界遺産登録推進業務等を担当。専門は考古学。

### 小久保 拓也

(こくぼ たくや)

八戸市埋蔵文化財センター  
是川縄文館  
縄文の里整備推進グループ  
リーダー(学芸員)



1976年、埼玉県生まれ。國學院大学文学部史学科卒業。是川縄文館の開館準備に携わる。現在は展示公開・教育普及の他、史跡整備・世界遺産登録推進業務を担当。専門は縄文時代の漆・木製品・土偶。

### 豊岡 将志

(とよおか まさし)

舟形町教育委員会教育課  
課長補佐



1973年、舟形町生まれ。1997年に入庁後、健康福祉課、企画課、観光課、総務課、まちづくり課を経て、現職。現在は社会教育・体育業務全般を担当。「縄文の女神まつり」・「舟形町芸能フェスティバル」に携わる。

### 菅沼 亘

(すがぬま わたる)

十日町市教育委員会事務局  
文化・スポーツ部  
文化財課埋蔵文化財係長(学芸員)



1967年、栃木県生まれ。新潟大学大学院人文科学研究科修了。1992年から十日町市博物館に勤務。現在は新博物館の開館準備に携わる他、教育普及・展示事業、埋蔵文化財資料の整理等を担当。専門は考古学。

### 山科 哲

(やましな あきら)

茅野市教育委員会事務局生涯学習部  
文化財課尖石縄文考古館考古館係長  
(学芸員)



1973年、北海道旭川市生まれ。明治大学大学院文学研究科博士前期課程修了。2010年から茅野市尖石縄文考古館に勤務。現在は展示・普及活動、資料管理、商標・ウェブサイト管理、尖石縄文文化賞事務等を担当。専門は先史考古学。

## スペシャルトーク 「縄文と国宝の魅力」

### 土井 善晴

(どい よしはる)

料理 研究家



1957年、大阪府生まれ。家庭料理の第一人者である故・土井勝の次男。大学卒業後、スイス、フランス、大阪で料理修業。土井勝料理学校勤務の後、1992年に独立し、「おいしいもの研究所」を設立。和食文化を未来につなぐために「和食の初期化」、持続可能な家庭料理のスタイルを提案。十文字大学特別招聘教授、甲子園大学客員教授、東京造形大学・学習院女子大学非常勤講師。WACCA IKEBUKURO(教室)「土井善晴のお稽古ごと」。「未来を担う若い人に今伝えたいこと」プロジェクトとして、時代を担う著名人との対談・講演会、食事学の勉強会を開催。

出演番組：NHK「視点・論点」・「ラジオ深夜便」・「きょうの料理」・「携帯大喜利」、テレビ朝日「おかずのクッキング」(1988年～)、MBS「プレバト/盛付け審査」。BS朝日「土井善晴の美食探訪!」。  
著 書：『一汁一菜でよいという提案』(グラフィック社)  
『素材のレシピ』(テレビ朝日出版)

### 譽田 亜紀子

(こんだ あきこ)

文筆 家



岐阜県生まれ。京都女子大学卒業。奈良県橿原市観音寺本馬遺跡の土偶との出会いをきっかけに、各地の博物館・遺跡を訪ね歩き、研究を続ける。現在はテレビ、ラジオ、トークイベント等をとおり、土偶や縄文時代の魅力を発信。最近の興味は、縄文と弥生時代の過渡期。

著 書：『はじめての土偶』・『にっぽん全国土偶手帖』(世界文化社)、  
『ときめく縄文図鑑』(山と溪谷社)、『土偶のリアル』・『土偶界へようこそ』(山川出版社)、『縄文のヒミツ』(小学館)、  
『祈る土偶ちゃん』(朝日出版社)、『知られざる縄文ライフ』・『知られざる弥生ライフ』(誠文堂新光社)

笹山遺跡出土品国宝指定  
20周年記念シンポジウム

# 縄文の国宝

参加申込書

下記に持参いただくか、FAX・Eメールでお申込みください。電話でも受け付けています。  
記載された個人情報は当シンポジウムに関する連絡のみに使用します。

お名前	電話番号